

令和3年度使用中学校教科用図書選定に関する報告

第十三地区教科用図書採択協議会

令和3年度に使用する中学校教科用図書を、公正かつ適正に選定するため、調査研究報告や学校意見等を検討しながら、選定作業を完了しました。

選定の経過、選定結果及び選定の理由、選定に係る委員は下記のとおりです。

1 選定の経過

部会名等	期 日	場 所	内 容
第1回 採択協議会	4月14日(火)	・コロナウイルス感染防止 対策のため紙上提案 ・後日承認	○採択日程(分散開催案)の審議・承認 ○予算(案)の審議・承認 ○部会員等選出(案)の審議・承認
第2回 採択協議会	6月26日(金)	京築教育事務所	○調査研究協議会からの答申受理
委員等委嘱 選定委員会	6月29日(月)	・コロナウイルス感染防止 対策のため紙上で確認 ・選定部会は、各部長 の所属校等で分散開催	○選定委員会委員委嘱 ○選定説明会
第1回 選定部会			○調査研究結果の説明 ○調査研究結果の検討、選定の内容や方向 の決定等
第2回 選定部会	7月6日(月) ～ 7月13日(金)	・選定部会は、各部長 の所属校等で分散開催	○調査研究資料等の検討 ○学校意見の検討 ○答申案づくり
第3回 選定部会			○答申案づくり
総括部会	7月22日(水)	行橋市役所	○選定結果の報告 ○答申内容の調整
第3回 採択協議会	7月27日(月)	行橋市役所	○答申受理 ○選定部会より報告
採択協議会 役員会議			○答申内容の審議、1種選定

2 選定結果及び選定理由

教科書 教科	発行者		教科書名
	番号	略称	
国語	38	光村	国語
書写	38	光村	中学書写 一・二・三年
社会（地理）	46	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
地図	46	帝国	中学校社会科 地図
社会（歴史）	17	教出	中学社会 歴史 未来をひらく
社会（公民）	17	教出	中学社会 公民 ともに生きる
数学	116	日文	中学 数学
理科	4	大日本	新版 理科の世界
音楽	27	教芸	中学生の音楽
器楽	27	教芸	中学生の器楽
美術	9	開隆堂	美術1 発見と想像 美術2・3 探求と継承
保健体育	224	学研	中学校保健体育
技術・家庭	2	東書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology
技術・家庭	2	東書	新しい技術・家庭科 家庭分野 自立と共生をめざして
外国語 （英語）	15	三省堂	NEW CROWN English Series
道徳	17	教出	中学道徳 とびだそう未来へ

選定理由

国語

- 各教材の「学習」「学習の窓」では、生徒の主体的な学びを引き出せる目標や学習過程を示している。
- 対話・質問、合意形成の話し合い、語彙力を高めるなどの言語活用能力や、情報活用能力を伸ばせる学習活動の場がある。
- 教科書記載のQRコードを読み取ることで、デジタル資料を数多く閲覧できる。

書写

- 「行書を活用しよう」などでは豊富な作例を掲載し、書写で習得した知識・技能を、国語や他教科・学校生活に活用できる。
- 学習のポイントが分かる「学習の窓」で書くときのポイントを意識でき、生徒は主体的に学習できる。
- 筆脈や穂先の動きが分かるように、QRコードで参考となる動画資料を活用できる。

社会(地理)

- コラム「未来にむけて」では環境・防災・共生の観点から「持続可能な開発目標(SDGs)」に関わる題材を積極的に扱っており、公民的分野の学習につなげることができる構成になっている。
- 二次元コードが随所に設けられており、資料の一部や学習内容に関連する動画等をタブレットパソコン等での閲覧や、調べ学習に活用することができるようになっている。
- 「地域の在り方」で、生徒自身が住む地域における社会的な課題の把握とその解決に向けた構想に取り組む活動でのモデルとなるよう配慮している。

地図

- 「地図活用」コーナーでは、地図帳で培うべき地理的な見方・考え方を育成する問いを配し、生徒が主体的に地図を読み取る力を身につけられるように配慮している。
- クサ色(黄緑色)の特殊インキも加えた多色刷り(5色)で印刷しているため見やすい。

社会(歴史)

- 国際社会に生きる日本人として共に生きる社会の実現を追求する力が養われるよう配慮されている。
- 毎時間、「確認」「表現」を使ってその日の学習内容の振り返りができ、表現力を高める工夫がなされている。
- 学習に不可欠な写真・イラスト・地図・グラフなどの資料が豊富に掲載され、視覚的にとらえやすく配置されている。

社会(公民)

- 本文の学習ごとに、学習課題と対応させた「確認」と「表現」のコーナーでは、基礎的事項の確認と表現活動が、個に応じて取り組める。
- 学習の導入または中心となる資料を配置し、「キャラクターの問いかけ」から学習を展開していく形式となっている。
- 「小学校、他分野、他教科との関連」や「関連するSDGs」を適宜表示し、系統的・横断的な学習をしやすい内容になっている。

数学

- 1単位時間で扱う内容を、ほぼ見開き2ページでまとめられ、めあてが赤色で具体的に表示されており、生徒・教員も分かりやすい。
- 題材のほとんどが各章末の「学び合おう」で取り上げられているため、指導者は数学的活動を意識して取り組むことができる。
- 「WEB」マークのある問題には、各学年巻頭のQRコードからアクセスして利用できるデジタルコンテンツを用意している。

理科

- 「Science Press」「くらしの中の理科」「Professional」「科学のあしあと」などの資料を充実させることで、興味・関心を高めながら、生徒が主体的に深い学びを実験できるように内容を構成している。
- 全学年を通して「理科の学習の進め方」をもとに学習を進めることで、見通しをもって探求が進められるように、思考力・判断力・表現力等が育成できるようにしている。
- 「探究の進め方」では、見方・考え方の例を示し、探究活動の指針となるようにしており、各単元では領域ごとの特徴的な見方を意識した課題設定をしている。

音楽

- 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなど、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感できる内容になっている。
- 在学中のみならず卒業後も様々な音楽と出会い、生涯にわたって音楽文化に親しむ態度を育むよう、クラシック音楽だけでなく、ポピュラー音楽など多彩なジャンルの作品を紹介する資料もまとめられている。

器楽

- 楽器のページでは、生徒の実態に合わせて基礎的な技能を習得できるよう、図で表示するなど、きめ細かな配慮がなされている。

美術

- 美術で育てる力を「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つに分け、学習の目標として示されている。
- A4ワイド版で、原寸大や部分拡大された作品資料が掲示され、レイアウトも見やすく、色彩や質感を忠実に再現するために発色の良い用紙が使われている。
- 多様な作家の作品や言葉も多数掲載され、言語活動を促進できるようになっている。

保健体育

- 「課題をつかむ」「考え・調べる」「まとめる・深める」と問題解決的な学習が重視されており、主体的・対話的な授業づくりにつながる構成となっている。
- 全単元において、毎時間の学習の流れがパターン化されており、若年教員にも使用しやすくなっている。
- 小学校及び高校との系統性のある指導ができるような構成となっている。

技術・家庭

- 「技術分野の学習を終えて」では、「地球環境や将来の世代のための技術」として、技術が人や社会、環境と関わりながら、生活や社会をよりよくするために発展し続けることが伝えられている。
- 技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みについて、内容の裏付けとなる図などを掲載し、科学的な思考に基づく知識が習得できるようになっている。
- 家庭科では、「課題の設定→計画→実践→評価→改善→次の課題への挑戦」といったプロセスを丁寧に説明するとともに、生活の中で自ら問題解決に取り組むことができるよう工夫されている。

外国語

- Use (Write/Read/Speak) や Take Action! (Listen) において、目標とする言語活動に到達するために、取組に段階が設けられており、言語感覚が磨かれる内容となっている。
- Word Bank や Tool Box が設けられ、題材と関連する語彙が補充されており、Take Action! Talk では、言語機能ごとに表現がまとめられている。
- 各 Lesson は GET と USE から構成されており、スムーズに習得から活用に接続する構成となっている。

道徳

- 教材は、「読み物資料」と「学びの道しるべ」で構成されており、教材ごとに「3つの発問」でねらいに迫る構成となっている。
- 主題に沿った「導入時の発問」が明記されている。
- 道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えることができる。

3 選定に係る委員

(1) 第十三地区採択協議会役員

会長	長尾明美
副会長	井上三津子
監事	榎口広二

(2) 選定委員会 総括部会

会長	屏悦郎
副会長	安藤あゆみ
部会員	野村信之
部会員	明石哲朗
部会員	出口徹
部会員	藤野洋二
部会員	飯田恵文
部会員	加藤淳仁
部会員	福羽延生
部会員	井上誠司
部会員	三田井秀信
部会員	入江義幸
部会員	竹原昭夫
部会員	木村泰輔